

MACHIDA BOUSAI COLLEGE

まちだ防災カレッジ

Vol.6

4

2024



NEW

アンバサダー

就任

《特集》

やってみることが大切

アウトドア×防災

地域防災力の向上に

アンバサダーによるPRとは

いざ！の前に…

ペットの備蓄を確認しよう

アウトドア防災体験

防災を楽しむ

楽しい記憶

今年度、防災普及のために取り組んできたアウトドア防災。3月10日(日)、ひなた村にて主催のアウトドア防災イベントが開催された。防災カレッジ2年目は、アウトドアを楽しみながら、防災をより身近に感じてもらうことを目指している。

前回の12月号にも掲載したが、若い世代を中心として、キャンプブームが到来し、現在では多くの方がアウトドアグッズを所持している。アウトドアでは、水や電気が限られ、自分で寝床を準備する等、災害時に活かせるノウハウがたまる。アウトドアのノウハウは防災にリンクする部分が多いからこそ、引き続きアウトドア防災の取組みを継続したい。



たき火のようす

避難所生活とは

2024年が始まった日、能登半島で最大震度7の大きな地震が発生した。被災地では、いまだライフラインが完全に復旧していない地域もあり、支援が継続して行われている。町田市では、被災地支援として、罹災証明書発行業務等や、医師や看護師等様々なルートを通じた派遣がなされた。現在も、国や各都道府県を通じた支援体制がなされている。

また、行政だけではなく、今回のアウトドア防災イベントの進行を務めた一般社団法人減災ラボも、イベントの前々日まで、被災地にて支援活動を行い、現地での状況などをイベント内で共有された。

現地では、給食施設の被災や食中毒防止対策などから、避難者が自炊すること、避難状況だとのことだ。また、災害時のトイレが初めての方が多く、ビニール袋をうまく便座にかけられない、トイレごみを清潔に処理できないケースが多くみられた。他にも、男女別の更衣室を作っていないなどの状態であったり、日頃から、避難所運営を自主的に行う訓練が災害時の備えとして必要なのだろう。



エマージェンシーシート体験：災害時には体温を下げないことが健康を保つ秘訣になります。このブランケットは、体から放射される熱を反射し、体温の低下を緩和させるコンパクトな防寒・防風シートで、100円ショップなどでも入手できます。



簡易トイレ実験：いざ、という時に使用方法がわかるように、一度、試しに水などを使って試してみたいかがでしょうか。また、備蓄数も今一度、どれくらい必要か見直してみましょう。

ポリ袋で炊くごはん

防災時は、水が大変貴重となる。そこで、提案したいのが、ポリ袋で炊くごはん。袋に入れて調理するので、そのまま食べれば、手も汚れないし、お鍋のお湯は二度も再加熱ができて、お湯は再度おいてほしい。各家庭での取り組みだけでなく、地域の訓練でも簡単にできるのでぜひ一度、試してみてください。



あると便利なキッチン道具

ポリ袋で炊くごはん

- ① 耐熱性のポリ袋にお米を1合、お水を1合いれる。
*できれば湯水させておくともより美味しい。
*少量で良い場合は、0.5合でもOK
- ② 空気を絞り出すようにして口をきつと縛る。
- ③ お湯をお湯を多めに沸かす。
- ④ お湯が沸いたら、鍋の底に皿や箸とし蓋を敷く。
- ⑤ ポリ袋を入れて蓋をし20分湯煎する。
- ⑥ 火を消して蓋をしたまま20分ほど蒸らす。

ポイント！

- ・湯水20分・湯煎20分・蒸らし20分で覚えておこう！
- ・鍋肌にポリ袋が触れないよう皿や箸とし蓋を使います。
- ・沸かしたお湯は何度も使え、湯煎や蒸らしと同時にトレットパックも温められます。
- ・ポリ袋のままおにぎりにすると衛生的です。
- ・テフロン加工のフライパン、焦げ付かないシート、キッチンばさみなどは、洗い物を減らすのに便利です。

冒険して今のうちに失敗しよう
これから、暖かい季節がやってきて、本格的にアウトドアシーズンとなる。
BBQをする際にも、ちょっとした「冒険」を試してみるのも大切。

例えば、ローリングストックの食材を試しに試してみようと、成功することもある。失敗することもある。そんな経験がいざという時のヒントになる。



詳しくは、まちだ防災カレッジポータルサイトに掲載しております。ぜひご覧ください。

「町田市防災アンバサダー」誕生

若い世代

について

アンバサダーとは…

アンバサダーとは、日本語に訳すと「大使」といった意味になる。ビジネスシーンでのアンバサダーとは、わかりやすく言えば、「宣伝大使」である。
町田市防災課では、2023年度からアンバサダー制度を開始し、7組に防災啓発をPRしていただいた。

若者は防災意識が低い？

これまで、地域で防災活動を行っている方から多く寄せられているのは、「高齢化」「若い世代がいない」という声だ。
確かに、避難施設の連絡会や開設訓練では、参加者の多くが、比較的高齢な方である。

しかし、果たして「今の若者は、防災意識が全くない」のだろうか。大切な家族を、大切な友人を、今の若者は見捨てるのだろうか。答えはさきつ「ノー」であろうか。
およそ20年前は、60%近くあった町内会自治会の加入率は年々下がり、現在は、45%ほどとなっている。

これは、社会環境の変化も影響しており、昔はわからなかったとが、近所の人に聞いたところ、あちらこちらで情報共有の場が持たれていた。防災でいえば「共助」の関係が築かれていた。それが、現代の社会において、先一本動かすだけで検索出来る

自分が必要とする答えを見つけることが出来る。スマートフォンが存在した。
ただ、インターネットの発達により情報が氾濫する現代社会では、その答えが正しい情報なのか、本当にあっているかを見極めなければならぬ。

現代では、常に、自分に必要な情報を取捨選択しており、防災においても必要な知識は、スマートフォンから入手できる。
時代の変化とともに、「共助型」の生活から、「自助型」の生活へと変化している中で、「自分に必要なものを効率的に求める」という考えは、必然であろう。

ここで、防災分野の話に戻すとこれまでの「共助型」が時代遅れだから今すぐやめなさい、という話ではない。防災時は、通信制限が発生し、これまで頼りにしていたスマートフォンが使用できず、「自助型」が成り立たず、「共助」が必要となる。しかし、平時は共助の必要性を感じないため、地域の防災力を高める手段は検討する必要がある。

そこで新たに、アンバサダー制度を導入した。アンバサダーが防犯情報発信することで、これまで防災に関心が低かった市民へ情報を届けることが可能となる。
アンバサダーは、インフルエンサーと異なり、無理な理口コミを増やすことが目的ではなく、自発的に自身の思いや体験を語るも、周囲の思いや体験に信頼度やイベント等を実際に体験してもらい、情報発信の広告塔として期待したい。

アンバサダー紹介



【NEW】

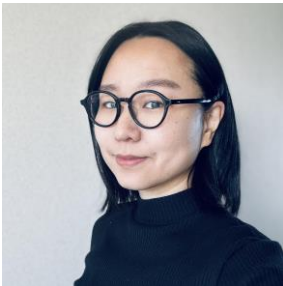
若林 ありか さん



【美容×防災】について発信し町田市を一緒に盛り上げてさせていただきます！皆さんどうぞ宜しくお願いいたします！！

【NEW】

三木 佳代子 さん



〈だれもとりにこぼさない防災〉を学びつつ、発信していきたいです。よろしくお祈りいたします！

【NEW】

エッグ&プリン さん



ヒドンナ(写真左):
自主的にアイデアを生み出して、リーダーシップを発揮できると確信しています
新しい発想で町田の防災イベントに積極的に参加して周りを巻き込んでいきたいと思ひます
どうぞよろしくお祈りいたします

渋谷りゅうき(写真右):

この度防災アンバサダーに就任させて頂きます町田を愛する男渋谷りゅうきです！(町田市在住歴22年)
いつ起こるかかわからない地震や災害時にどのように対処すべきかを多くの防災イベント等を積極的に参加し、その活動を皆様にユーモアかつ真面目にお届けすることが出来れば良いと考えています！！
皆で守ろう好きな街♥押忍

【NEW】

らぶふあみ事務局 さん



災害がおきた時に、子どもと一緒にどこに避難すべきか…。防災バックや備蓄品はどのようなものを揃えておくかなど、悩みが尽きないファミリーが多いと思ひます。

自分以外の命を守らなければならぬ中で、同じように悩んでいる子育て真っ只中のママの目線で役立つ防災の情報を発信していきます。

【NEW】

栗原 美憂 さん



この度アンバサダーに就任致しました、大学2年生の栗原美憂です。

幅広い年代の方々への情報発信はもちろん、自分自身の大学生という点を活かし、普段防災などに関わる機会の少ない多くの大学生や高校生にも情報発信をしていけたらと思っております！

よろしくお祈りいたします。

[NEW]

よっしー さん(高校生)

自然災害が増えている今、災害は突然やってくる。でも私たちが準備しておくことで被害を最小限に抑えられると思う。
地震や台風などの災害が起きた時、家族や友だち、そして地域みんなが安全でいられるように、町田の未来を築くため、日頃から防災の知識を身につけて備えたいと思う。
みんなで協力して、安全な社会をつくるために頑張りたいです。



えみゆ。さん

SNS活動など身近なところから頑張っていきたいです！



さるびあ亭かーこ さん

町田市民の防災意識を高めるためFMHOT839毎週(火)レギュラー番組「町田推しごとパンザイ！」でも伝えていきたいです♪



らーゆ さん

昨年度より継続してアンバサダーを務めさせていただきます。
昨年はあまり活動に参加できなかったのですが、今年はさらに防災に関する情報発信やイベントに参加していきたいと思っています！



まちさが さん

防災アンバサダー2年目！これからも防災に役立つ知識や、イベントなど発信していくよ♪



マサラ さん

堅苦しく若い世代の関心が薄いと言われる防災。しかし、ある日突然誰にでも降り掛かってくるのが災害であり、そんなときに自分を守るのが防災知識です。
防災に親しみを持ってもらい自助力向上のために、身近な話題と絡め"ポップ"に発信していきたいと思えます！

[NEW]

杉山 瑠美奈 さん

皆さんはじめまして！2024年度町田市防災アンバサダーに就任いたしました、(新)高校1年生の杉山 瑠美奈と申します。
市民の方々の防災意識の向上に貢献できるよう、精一杯努力を重ねてまいります！よろしくお願ひいたします！



マチダクリップ さん

今年で2年目になる防災アンバサダー。
昨年よりもより多くの方が、ほんの少しでも防災について考える機会を作れるように情報発信していきます！
イベントなどで見かけた際には、お気軽に声をかけて下さいね♪

インフォメーション

防災WEBポータル
発災時、避難施設の開設状況などを確認できます。



まちだ防災カレッジ
Instagram
・イベント情報や防災に関する情報を発信しています。



東京都町田市(防災・安全・気象情報)(町田市公式)
防災・気象・地震情報などを配信しています。



キキクル
大雨などで発生する恐れのある、土砂災害、新水害・洪水の危険度分布を確認できます。



まちだ防災カレッジ
ポータルサイト
町田市防災における普及啓発に関する取り組みを集約しています。避難施設での取り組みも今後PR予定です。



[NEW]

コウダミキ さん

町田市防災アンバサダーとして、キャンプで培った経験を防災に生かしたいと思えます！
テント設営や火起こしなど、自然の中で学んだことが、いざという時に役立つはず。楽しみながら、少しずつ防災グッズを揃えたり、非常時のプランを考えたりして、市民の皆さんと一緒に準備を進めていきたいです。
ファミリー目線を交えながら、地域みんなまで支え合えるような、そんな防災の取り組みをしていきたいと思えます！



- ・ フード&水(最低5日分できれば7日分)
- ・ 常備薬、療法食
- ・ トイレ用品(トイレシート、猫砂、新聞紙等)
- ・ 健康の記録
- ・ 写真
- ・ 首輪・リード
- ・ ケージ、キャリーバッグ
- ・ その他、ガムテープ、おもちゃ等必要なもの

です。やすすい場所に保管すること大切
のを準備し、持ち出せるよう、取り出しが
て、ペットの命や健康に関わるものを最優先に、ペットの防災用品
② 次にあげる防災用品を参考に
△ 災害発生時に慌てないために
てのポイントと災害を乗り越えるため
ていきます。

PickUp

ペットの災害対策シリーズ②

ペット同行避難

